

ID No.	3019
研究課題名	インフルエンザウイルスのゲノムパッケージングに関する研究
研究代表者	野田 岳志 (京都大学・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	河岡 義裕 (東京大学医科学研究所・教授) 村本 裕紀子 (京都大学・研究員) 中野 雅博 (京都大学・助教) 神道 慶子 (京都大学・研究員) 武長 徹 (京都大学・大学院生) 宮本 翔 (京都大学・大学院生)
研究報告 ウイルス感染分野・河岡義裕教授との共同研究を通じて、インフルエンザウイルスのゲノムパッケージング機構に関する研究を進めた。本年度は、A型ウイルス・B型ウイルスの実験室株や臨床分離株を用いた解析により、A型ウイルスもB型ウイルスも8種類のRNA分節を選択的に取り込むメカニズムを有すること、しかし、7本以下のRNA分節しか取り込まないウイルス粒子がウイルス株によっては0-20%程度の割合で存在することを明らかにした。従って、インフルエンザウイルスの選択的ゲノムパッケージング機構には、ある程度の許容性があることを示した。	